



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック
コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 嶋田 和子

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,846	11.8	387	△11.2	387	△11.8	195	△21.0
23年3月期第3四半期	1,652	17.6	435	26.1	439	24.5	247	20.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 177百万円 (△46.5%) 23年3月期第3四半期 332百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4,197.45	—
23年3月期第3四半期	5,313.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,205	2,754	82.8
23年3月期	3,207	2,649	81.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,654百万円 23年3月期 2,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2,100.00	2,100.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,100.00	2,100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	24.7	510	5.7	500	2.9	300	5.6	6,442.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	47,296 株	23年3月期	47,296 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	732 株	23年3月期	732 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	46,564 株	23年3月期3Q	46,564 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要はあるものの、ヨーロッパの信用不安、海外経済の減速、タイの洪水被害に加え、長引く円高の影響により、持ち直しの動きが停滞しており、景気の先行き不透明感は依然拭えない状況が続いております。

当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界におきましては、冬商戦向けの新機種の発売前という状況により、携帯電話出荷台数は2011年11月度において1,935千台、前年同月比63.3%となっております。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音声認識・UIソリューション事業分野を核に積極的なビジネスを展開しました。

スマートフォンやタブレット端末を活用した業務支援ソリューションへの事業展開を加速させるために、新たに音声認識製品ブランド vGate (ブイゲート) を立ち上げました。

業務支援ソリューション展開の第一弾として、vGate (ブイゲート) 搭載をした業務日報ソリューションを株式会社池田泉州銀行と共同開発し販売を開始しました。

さらに株式会社ホンダアクセスが研究を行っている車内サービス「スピーチナビゲーション」にもvGate (ブイゲート) を提供し、共同開発を始めております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,846百万円 (前年同四半期比11.8%増)、営業利益は387百万円 (同 11.2%減)、経常利益は387百万円 (同 11.8%減)、四半期純利益は195百万円 (同 21.0%減) となりました。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりです。

セグメントの名称	第11期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	第12期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス	1,482	1,674	191
音声認識・UIソリューション	770	1,038	268
音源	712	331	△381
CRMソリューション	—	304	304
ライセンス以外	169	172	2
基盤	61	63	1
カード	107	108	0
売上高合計	1,652	1,846	194

① ライセンス (音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野、CRMソリューション事業分野)

売上高は1,674百万円 (前年同四半期比12.9%増) となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は1,038百万円 (同 34.8%増) となりました。カスタマイズ業務による収入及びランニングロイヤルティによる収入は減少しましたが、イニシャルフィーによる収入が順調に推移したことから売上増となりました。

音源事業分野の売上高は331百万円 (同 53.5%減) となりました。イニシャルフィーによる収入は増加しましたが、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとの音源IPライセンス契約に基づくロイヤルティ収入は、国内市場における音源搭載台数の伸び悩みにより減少となりました。

CRMソリューション事業分野の売上高は304百万円であります。

第1四半期連結会計期間において新しくグループに加わったイズ株式会社 (以下、「イズ」という。) の持つCRM製品の売上が寄与しております。

当社のコア技術である音声認識・音声合成・音声対話とイズのWebアプリケーション開発能力を融合させながら、ソリューションビジネスへの展開を図り新たな業界への進出を目指してまいります。

② ライセンス以外 (基盤事業分野、カード事業分野)

売上高は172百万円 (前年同四半期比1.6%増) となりました。

基盤事業分野の売上高は63百万円 (同 2.9%増) となりました。カスタマイズ業務による収入は減少しましたが、新規プロジェクト「E検定～電気・電子系技術者育成プログラム～」による収入に加え、イズの子会社化に伴い連結子会社となった株式会社スーパーワン (イズの子会社) の売上が寄与し、前第3四半期連結累計期間と比較し、微増となりました。

カード事業分野の売上高は108百万円 (同 0.8%増) となりました。英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みによる収入は微増となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億円減少し3,205億円となりました。

資産は、流動資産が2,316億円（前連結会計年度末比207億円減）、固定資産が888億円（同205億円増）となりました。

流動資産の主な減少要因は、現金及び預金の減少30億円及び有価証券の減少200億円によるものであり、固定資産の主な増加要因は、イズの株式取得による子会社化により発生したのれん136百万円の増加によるものであります。

負債は、流動負債が290億円（前連結会計年度末比263億円減）、固定負債が159億円（同157億円増）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金の返済による減少200万円、納税による未払法人税等の減少95万円であり、固定負債の主な増加要因は、イズの子会社化により発生した長期借入金159百万円の増加によるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加97百万円等により2,754百万円（前連結会計年度末比104百万円増）となりました

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成23年5月9日公表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額は3百万円減少、法人税等調整額は3百万円増加し、四半期純利益は3百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009,911	979,658
売掛金	439,581	455,373
有価証券	1,000,000	800,000
仕掛品	20,336	45,118
その他	55,830	38,576
貸倒引当金	△1,375	△1,851
流動資産合計	2,524,283	2,316,875
固定資産		
有形固定資産	70,342	95,163
無形固定資産		
のれん	51,243	181,412
その他	226,901	278,316
無形固定資産合計	278,144	459,728
投資その他の資産	334,360	333,452
固定資産合計	682,847	888,344
資産合計	3,207,131	3,205,220
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,214	37,950
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	—	44,436
未払法人税等	175,904	80,529
賞与引当金	39,705	16,540
その他	64,039	111,446
流動負債合計	554,864	290,903
固定負債		
長期借入金	—	159,596
リース債務	753	304
その他	2,010	—
固定負債合計	2,764	159,900
負債合計	557,629	450,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	1,029,028	1,126,693
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	2,590,429	2,688,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,257	△33,490
その他の包括利益累計額合計	7,257	△33,490
少数株主持分	51,814	99,810
純資産合計	2,649,501	2,754,415
負債純資産合計	3,207,131	3,205,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	1,652,530	1,846,876
売上原価	643,373	643,306
売上総利益	1,009,157	1,203,569
販売費及び一般管理費	573,179	816,483
営業利益	435,977	387,085
営業外収益		
受取利息	2,602	1,886
受取配当金	500	954
その他	458	660
営業外収益合計	3,560	3,500
営業外費用		
支払利息	481	3,493
営業外費用合計	481	3,493
経常利益	439,056	387,092
特別利益		
固定資産売却益	—	219
特別利益合計	—	219
特別損失		
固定資産除却損	—	148
ゴルフ会員権評価損	2,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	240	—
損害賠償金	—	360
特別損失合計	2,940	508
税金等調整前四半期純利益	436,116	386,803
法人税、住民税及び事業税	152,370	161,003
法人税等調整額	24,818	7,466
法人税等合計	177,189	168,469
少数株主損益調整前四半期純利益	258,927	218,334
少数株主利益	11,513	22,884
四半期純利益	247,414	195,449

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	258,927	218,334
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	73,113	△40,748
その他の包括利益合計	73,113	△40,748
四半期包括利益	332,040	177,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	320,527	154,701
少数株主に係る四半期包括利益	11,513	22,884

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。